

平成29年11月8日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号: 8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成29年10月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成29年10月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位: 百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
一般顧客	49,244	47,950	48,396	48,825	49,273	48,465	48,378	49,173	49,046	48,987	49,458	49,201
金融法人 (B to B)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000
マネパカード口座数 (単位: 口座)	(平成 29 年 3 月分からの開示項目であるため非開示であります)											

年 月	平成 29 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位: 百万円)	458	412	521	469	488	449	404	489	539	483		
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410		
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465		
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512		
一般顧客	49,392	49,446	49,784	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014		
金融法人 (B to B)	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498		
マネパカード口座数 (単位: 口座)	(非開示)		73,733	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187		

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

#### <10月次の概況>

10月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝112円台半ばで取引が始まり、来年2月に任期を迎えるFRB議長の後任人事を巡る思惑や北朝鮮の挑発行為に対する懸念等が交錯し値動きの小さい推移となりましたが、13日に発表された米国経済指標が予想を下回ると111円台半ばの安値をつけました。その後、次期FRB議長の候補として積極派とされるテイラー教授が有力であるとの報道がなされると、米国金利の上昇もありドル買いが優勢となり、22日の衆議院選挙において与党が大勝すると114円台を回復しました。しかしその後、次期FRB議長候補として慎重派とされるパウエルFRB理事が有力との見方が浮上するとドル買いは継続せず、月末の日銀金融政策決定会合の結果も予想の範囲内にとどまったことから、113円台半ば月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、値動きに乏しい相場推移となり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は、平成27年11月以来の極めて低い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月比20%減少の1,154億通貨単位となりました。一方、外国為替証拠金取引の収益性が大きく低下した前月の反動もあり若干向上したことから、営業収益は483百万円と前月比減少幅は10%にとどまりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,464口座増加の307,465口座、マネパカード口座数は前月比2,778口座増加の104,187口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの預りは堅調に増加したものの金融法人からの預りが大きく減少したことから全体としては前月比1,221百万円減少の63,512百万円となりました。

以 上